

みす和夫 市政レポート

平成30年4月号 Vol.33



発行 千葉市議会議員 みす和夫事務所
千葉市緑区誉田町2-21-1189 ☎291-1086

ホームページもご覧下さい。 [みす和夫](#) 検索 メール misu@misukazuo.jp

平成30年3月 第1回市議会定例会報告

千葉市議会議員としての活動も今年で24年目を迎えます。私の生まれ育った千葉市、ひいては緑区の街づくり、そしてそこで暮らす市民の皆様が暮らしやすい街になるよう、市議会での一般質問を通して市政への政策提案活動に熱意とパワーで取り組んで参りました。

私の市議会での一般質問も今回で通算33回を数え、毎回多くの方々が傍聴に

足を運んでくださるようになりました。皆様が市政に関心を持ってくださることで、私自身も更に心が引き締まる思いが致します。

さて、新しい人生の節目となるこの季節。国会では働き方改革が議論されており、男性も女性も、高齢者も雇用の機会がふえております。私は、この街で、雇用の場の確保とともに、働きながらの子育てを行政や社会がしっかりサポートできる体制づくりを更に進めて参りたいと存じます。

千葉市議会議員 三須 和夫



平成30年3月9日(金) 一般質問を行いました。

市議会議員となつてから22年以上にわたつて、この明治大学誉田農場に注目し、その活用を訴え、地域の活性化に向けた様々な提案をしてきた私にとりましては、この日を迎えること

が重要であると考えております。更には、住民説明会において事業者が掲げていた「地域と共存する産業団地」

明治大学誉田農場跡地での産業用地整備について

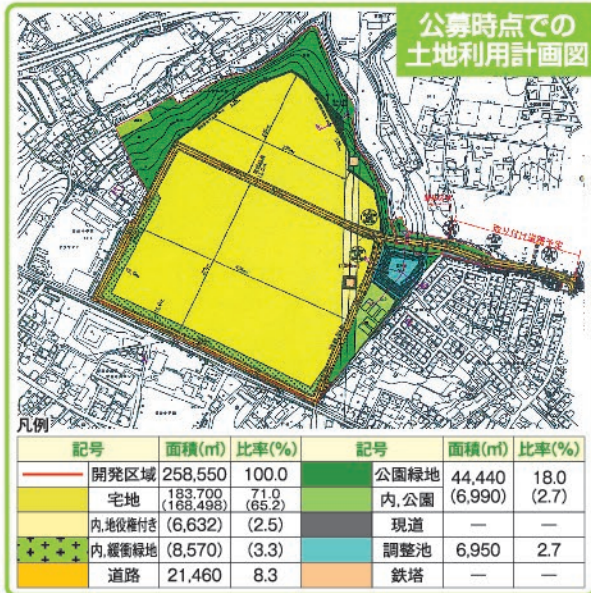
エムケー株式会社による産業用地整備事業について、市当局が事業計画認定を実施して以降、市と事業者は、地域への説明や調整にあたり、昨年11月30日には、開発許可がなされたところです。

昨年12月16日、17日に3回にわたる工事説明会を実施し、ついに本年1月28日に、産業用地開発に係る起工式が行われ、熊谷市長をはじめとした市当局の方々や私も出席をさせて頂き、本格的な整備に着手しました。

市議会議員となつてから22年以上にわたつて、この明治大学誉田農場に注目し、その活用を訴え、地域の活性化に向けた様々な提案をしてきた私にとりましては、この日を迎えること

が重要であると考えております。更には、住民説明会において事業者が掲げていた「地域と共存する産業団地」

明治大学誉田農場跡地の産業用地整備と誉田駅北側の用途地域の見直しについて



を実現していくためにも、地域に配慮した形で工事を進めて頂くことが必要不可欠であります。

質問1
開発工事の進捗状況や今後のスケジュールについて

質問2
来年度における、明大誉田農場跡地への企業誘致に向けての具体策について

本年1月28日に行われた起工式以降、測量や周辺家屋への事前調査等の本格的な工事着工に向けた準備作業を実施しているところと見られます。

今後につきましては、開発区域東側において、工事車両等の搬入路を確保する工事から着手し、開発区域内外の工事を本格化させて参ります。平成30年度中には本市建設負担金の対象となる周辺インフラ整備

の強化によって、地域の雇用及び経済活性化に資する産業拠点としての形成を進めて参ります。

極的なセールスをお願いします。

今後、この産業用地が地域活性化の核となることを期待するところでありますが、これを機に、地域住民の方々はもちろんのこと、進出企業にとっても快適に操業することができるよう、必要な道路インフラの整備を検討頂きますようお願いいたします。

また、地域の声を反映しながら、公園など、周囲に桜を植樹していただく等、誉田地区の景観にも配慮頂きますようお願いいたします。

強く要望いたしました

開発工事にあたっては、重ねての要望とはなりますが、必要に応じて、工事を担当する建設会社に対して、地域住民の皆様へ工事の進捗状況を伝え、地域とのコミュニケーションを実施するよう、しっかりと指導して頂きますようお願いいたします。

また、市としても、この産業用地への企業誘致活動に注力して頂けることが確認でき、安心しました。是非、優良な企業への積

質問
誉田駅北側の用途地域について今後どのようにして見直しを進めるのか

これは、現在の用途地域は第一種低層住居専用地域が大半であり、店舗や飲食店などの建築できる区域が小さいことに原因があるのだと思えます。地域住民や仕事帰りの方が買い物や飲食、また遊んで時間が過ぎるような店舗等が立ち並び、そのような駅前が発展してほしいと切に願っております。

強く要望いたしました

誉田駅の北側につきましては、駅前の賑わいづくりや、全体的なサービスの向上のため、用途地域の見直しの検討を進めていくとの考えであることを理解いたしました。地域住民の方や新しく住まれた方から大変強い期待を寄せられておりますので、用途地域の見直しを早期に実現していただきたく強く要望いたします。

誉田駅北側の用途地域の見直しについて

(答弁)都市局都市部都市計画課

誉田駅周辺は、千葉市都市計画マスタープランにおいて地域拠点に位置付けられており、市民が日常生活を送るうえで必要なサービスの提供が受けられるように土地利用を誘導する必要があります。駅の北側におきましては、たかだの森ニュータウンで戸建住宅の立地が進んでおり、居住人口は今後も増加することが見込まれます。

誉田駅の北側につきましては、戸建住宅も多く低層の住宅地であることから、居住環境への影響や駅前の賑わい機能の形成等を考慮しながら、市街地の状況や居住者等の意見を踏まえつつ全体的なサービスの向上が図れるよう、用途地域の見直しの検討を進めて参ります。